

## スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド 愛称:価値発掘

### お知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は  
株式会社格付投資情報センターの選定による「R&Iファンド大賞2020」において  
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で  
「最優秀賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の当該ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は  
「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」において  
「投資信託 株式部門 最優秀会社賞」を2年連続受賞しました。  
(直近7年間では6回目の受賞です。)



リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperalpha.refinitiv.com/lipper/](http://lipperalpha.refinitiv.com/lipper/)をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードについて

世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、[lipperalpha.refinitiv.com/lipper/](http://lipperalpha.refinitiv.com/lipper/)をご覧ください。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド

マンスリーレポート

愛称: 価値発掘

基準日 2020年4月30日

【運用実績】

	過去のパフォーマンス(%)		直近の分配実績(円)	
	ファンド	MSCI Japan Micro Cap指数(配当込み)	第5期 2018/01/22	200
過去1ヵ月間	7.42	7.04	第6期 2018/07/23	200
過去3ヵ月間	-17.00	-15.35	第7期 2019/01/22	100
過去6ヵ月間	-16.21	-12.44	第8期 2019/07/22	100
過去1年間	-12.27	-9.00	第9期 2020/01/22	100
過去3年間	8.81	5.85	設定来累計	900
設定来	54.46	37.76		

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【資産別構成】

資産種類	比率(%)
株式	92.7
投資信託証券	0.0
その他株式関連証券	0.0
現金その他	7.3

※比率は対純資産総額

【株式市場別構成】

市場	比率(%)
東証1部	60.0
ジャスダック	12.7
東証マザーズ	10.4
東証2部	9.6
その他市場	0.0
株式組入比率	92.7

※比率は対純資産総額

【株式規模別構成】

株式規模	比率(%)
超小型株	81.6
小型株	11.1
中型株	0.0
大型株	0.0

※比率は対純資産総額

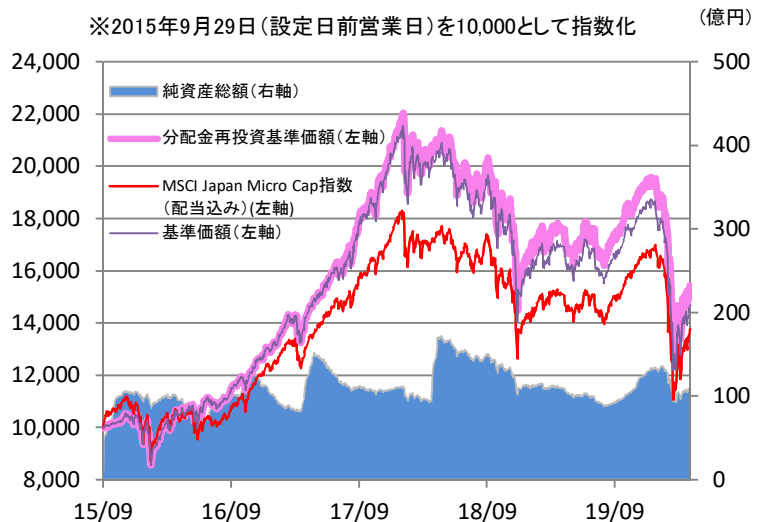
※「株式規模」はスパークス・アセット・マネジメントにより次のとおり定義  
超小型株 時価総額合計の下部2%以下  
小型株 時価総額合計の下部15%~2%  
中型株 時価総額合計の下部30%~15%  
大型株 時価総額合計の上部70%以上

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
14,695円	14,622円	110.21億円

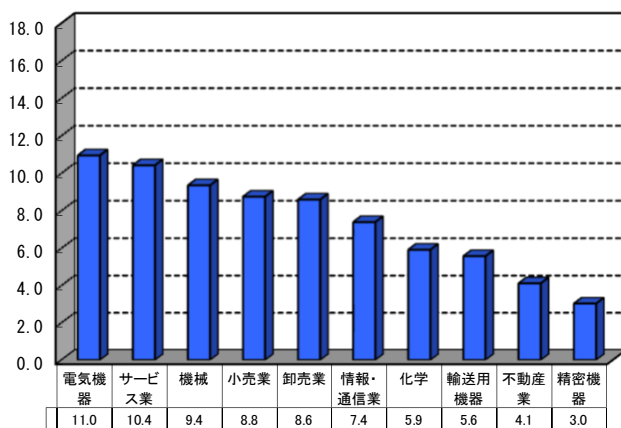
ハイ・ウォーター・マーク 20,417円

※基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えると実績報酬が発生します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。  
※当該ハイ・ウォーター・マークは、当ファンドの毎計算期間末(毎年1月22日および7月22日、休日の場合は翌営業日)に更新される場合があります。詳しくは委託会社にお問い合わせください。



※当ファンドはMSCI Japan Micro Cap指数(配当込み)に連動するものではありません。  
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
※基準価額は、信託報酬および実績報酬等控除後です。

【株式業種別構成 上位10業種(%)】



※比率は対純資産総額

【組入有価証券 上位10銘柄】

(銘柄総数:81銘柄)

銘柄	市場	業種	比率(%)
1 TBK	東1	輸送用機器	1.9
2 荏原実業	東1	機械	1.8
3 鈴木	東1	電気機器	1.7
4 要興業	東2	サービス業	1.7
5 コメ兵	東2	小売業	1.7
6 ブイキューブ	東1	情報・通信業	1.6
7 スクロール	東1	小売業	1.5
8 アイリックコーポレーション	マザーズ	保険業	1.5
9 毎日コムネット	東1	不動産業	1.5
10 パスコ	東1	空運業	1.5

※銘柄は下記の取引市場を指します。 ※比率は対純資産総額  
東1: 東証1部、東2: 東証2部、マザーズ: 東証マザーズ、JQ: JASDAQ

※上記記載のうち、純資産総額に対する比率については、マザーファンドへの投資を通じて実質的に投資している各投資資産の時価残高を含めて算定しています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド マンスリーレポート

## 愛称:価値発掘

基準日 2020年4月30日

### ◆株式市場の状況

4月の日本株式市場は、第1週は前月に引き続き下落傾向でしたが、その後は株価急落による割安感からの買いが入り、加えて各国政府の政策への期待、新型コロナウイルス感染拡大の収束期待などから反発しました。前月の反動で新興市場は大きく反発しましたが、東証小型株は大型株と同程度のパフォーマンスでした。

この結果、TOPIX（配当込み）は前月末比4.35%の上昇、当ファンドの参考指数は同7.04%の上昇となりました。

### ◆ファンドの運用状況

当ファンドは、前月末比7.42%の上昇と、参考指数の同7.04%の上昇を0.38%上回りました。

当月のプラス貢献銘柄は、神戸天然物化学、リンクバル、要興業などでした。

医薬分野、情報電子分野向けに有機化合物の受託研究・開発・量産を手掛ける神戸天然物化学は、前月まで下落が継続していたところからの反動により上昇したものと考えます。街コンなどのイベント情報のEC（電子商取引）サイトを運営するリンクバルは、新型コロナウイルス感染拡大に対応し、屋内にいながら参加できるオンラインイベントサイトなどの新サービスの展開が期待され、株価が上昇したものと考えます。一般・産業廃棄物の収集運搬・処理・リサイクルを手掛ける要興業は、2020年3月期第3四半期決算を発表した2月以降、下落していたところからの反動により、株価が上昇したものと考えます。

一方、マイナス影響銘柄は、東京製綱、アテクト、白銅などでした。

ワイヤロープ国内最大手の東京製綱は、景気減速による建機用ワイヤロープやタイヤ用スチールコードの需要減少が懸念され、株価が下落したものと考えます。半導体保護資材などを手掛けるアテクトは、米中貿易摩擦による一部顧客の在庫調整や工作機械等の世界的需要減が嫌気され、株価が下落したものと考えます。金属商社の白銅は、アルミ市況の軟化や液晶装置向け金属加工の回復の遅れなどが懸念され、株価が下落したものと考えます。

当月、新規投資銘柄はありません。インバウンド需要が減少し短期的には厳しい環境が想定される健康食品・化粧品などを販売する企業1銘柄を全売却しました。

### ◆今後の運用方針

4月は急落からの反動で株式市場は上昇しましたが、決して楽観できる状況ではありません。会社決算は延期され今期予想が発表されない企業が多く、また経済指標はかつてない悪い数字がこれから発表されることが予想できます。

当面は新型コロナウイルス感染拡大の収束期待で上昇していた株式市場は、各種経済指標などの数値や新型コロナウイルス感染拡大防止対策の長期化に伴う先行き不透明感から一本調子で相場が回復する可能性は低く、「対策効果」で一喜一憂する環境が想定されます。

企業活動を見ると、新型コロナウイルス感染症対応に合わせたコスト削減などの緊急対策だけでなく、財務体質に応じた対応、ビジネスモデルの再構築に対する考え方など、企業間の戦略格差が拡大しており、これが数年後の業績格差につながると私どもは考えます。

したがって今の状況は短期的には厳しいですが、「良い企業」に投資する絶好の機会であると考えます。

運用戦略としては、この時期だからこそ企業個別要因をさらに重視して銘柄選別を進め、安全性には注意しつつ回復時にシェアを伸ばせると考えられる企業、新しい環境に適応できると考えられる企業などに選別投資してまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。